

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公表番号】特表 2012-509496 (P2012-509496A)

【公表日】平成 24 年 4 月 19 日 (2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-016

【出願番号】特願 2011-536384 (P2011-536384)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 10 日 (2012.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 少なくとも 0.15 の面内複屈折を 632.8 nm にて有する複屈折熱可塑性ポリマーを含む少なくとも 1 つの第 1 光学層と、

(b) 0.040 未満の面内複屈折を 632.8 nm にて有する少なくとも 1 つの第 2 光学層と、を含み、前記第 2 光学層が、少なくとも 1 つの複屈折熱可塑性ポリマー及び少なくとも 1 つの第 2 熱可塑性ポリマーからなる、20～80 モル%の共重合ブレンドを含む、多層光学フィルム。

【請求項 2】

少なくとも 0.15 の面内複屈折を 632.8 nm にて有する少なくとも 1 つの第 1 光学層であって、100%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも 70 モル%のナフタレートサブユニットを含む複屈折熱可塑性ポリマーを含む第 1 光学層と、

0.040 未満の面内複屈折を 632.8 nm にて有する少なくとも 1 つの第 2 光学層と、を含み、前記第 2 光学層が、100%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも 20 モル%のナフタレートサブユニットを含む複屈折熱可塑性ポリマーと、少なくとも 1 つの第 2 熱可塑性ポリマーの共重合ブレンドと、を含み、前記共重合ブレンドが前記第 1 光学層の前記複屈折熱可塑性ポリマーよりも少なくとも 10 低い Tg を有する、多層光学フィルム。

【請求項 3】

光学フィルムであって、

請求項 1 に記載の前記多層光学フィルムを含むベース層と、

前記ベース層上に配置されたマイクロ構造化表面層と、を含む、光学フィルム。

【請求項 4】

100 モル%のカルボキシレートサブユニットに対して、少なくとも 70 モル%のナフタレートサブユニットを含む、632.8 nm にて少なくとも 0.15 の面内複屈折を有する少なくとも 1 つの第 1 光学層と、

632.8 nm にて 0.040 未満の面内複屈折性を有する少なくとも 1 つの第 2 光学層と、を含み、前記第 2 光学層が、100 モル%のカルボキシレートユニットに対して少なくとも 20 モル%のナフタレートユニットを含み、該多層光学フィルムが、少なくとも 6 の反復単位の平均ブロック長を有するポリエチレンナフタレートのブロックを含む、多

層光学フィルム。

【請求項 5】

100モル%のカルボキシレートサブユニットに対して、少なくとも70モル%のナフタレートサブユニットを含む、632.8nmにて少なくとも0.15の面内複屈折を有する少なくとも1つの第1光学層と、

632.8nmにて0.040未満の面内複屈折性を有する少なくとも1つの第2光学層と、を含み、前記第2光学層が、100モル%のカルボキシレートサブユニットに対して少なくとも20モル%のナフタレートサブユニットを含み、該多層光学フィルムが、90°剥離試験によれば少なくとも500g/インチ(196.9g/cm)の粘着力の中間層を示す、多層光学フィルム。